

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (呉市立仁方中学校)

- ① 教科等 技術・家庭科 (技術分野) ② 学年 第2学年
- ③ 題材名 マルチメディアを活用して、デジタル作品の表現や発信をしよう
- ④ 本時の目標 情報発信を行うときの問題点を指摘し、その解決方法を考えることができる。
- ⑤ 学習の流れ (9時間目/全11時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 情報モラルに関するチェック項目を確認する。	・学級全体で考えた情報モラルに関するチェック項目を再度確認する。	
2 学習課題を確認する。	・問題提示をする。	
情報発信を行うときの問題点を見付け、その解決方法を考えよう。		
3 作成した、自分達のデジタル作品を相互チェックする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <input type="checkbox"/> 許可無く、他の人の作品などの著作物を使っていないか。 <input type="checkbox"/> 許可無く、他の人の写真を使っていないか。 <input type="checkbox"/> 無責任なことや悪口、うわさを書いていないか。 <input type="checkbox"/> 情報は最新のものになっているか。 </div> チェック項目 (一部抜粋)	・班ごとに、自分達の作成したパワーポイントのスライドをお互いに閲覧させ、Web ページ上に公開した場合に問題点はないか考えさせる。 ・学級全体で考えたチェック項目に沿って、適正かどうか確認させる。 ・修正が必要な箇所は、なぜ修正が必要なのかを明確にし、その修正案を提示させる。	・Web ページの利用に関して適正に活動している。 [生活を工夫し創造する能力] (ワークシート) (デジタル作品)
4 本時の学習の振り返りをする。	・本時の目標を達成できたかどうかを確認するとともに、デジタル作品をWeb ページ上で発信する際の留意点についてまとめさせる。 ・本時の目標を達成できなかった生徒は個別に指導する。	・Web ページの利用に関して適正に活動しようとしている。[生活や技術への関心・意欲・態度] (ワークシート)
5 次時の学習の予告を聞く。	・次時の学習について知らせる。	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 情報発信を行う際の問題点を考えることで、情報に関する技術の利用場面に応じて、適正に活動することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- ワークシートを活用して個の考えを明確に整理させる。
- 思考を深め、ねらいに迫るために、生徒同士の関わり合いの活動を仕組む。